

海外安全対策情報 平成25年度第2四半期(2013年7月～9月)

在スロベニア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

欧州経済危機の中、当国でも政府による緊縮財政案等に対する一般市民の不満が高まり、最大2万人規模で政府への抗議を目的とした大規模デモが開催されたが、汚職疑惑等によりヤンシャ首相(当時)が退任に追い込まれ、新政府が3月に成立してからはこれらのデモも沈静化に向かっている。7月～9月の間では、リュブリャナ市内で1回のみの開催で、参加者も減少傾向、特段の顕著な動きもなく、国内の治安情勢は比較的安定してきていると言える。

その一方、同種のデモは今後も開催が見込まれており、過去にはデモ隊と警察隊が衝突し、少ないながらも逮捕者及び負傷者が出ていることを考慮すると決して楽観できる状況とも言えない。

これまで一般人が当該デモ事案に巻き込まれた事案は把握されていないが、今後もデモや集会には注意を要する。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 国家警察当局が発表した2012年中の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は89,236件と前年の88,722件からほぼ横ばいで推移した。一般犯罪・凶悪犯罪件数についても特段顕著な動きはなく、犯罪検挙率は47.6%(前年49.1%)であり、警察当局のパフォーマンスは比較的良好である。その一方、詐欺等の経済犯罪における被害額は約449.5万ユーロで前年比2.5倍と激増しており注意が必要である。

主な犯罪種別の内訳は以下のとおり。

スリ・置き引き等	30,956件(前年29,408件)
ひったくり	816件(同716件)
空き巣	13,759件(同13,363件)
自動車盗	520件(同522件)
殺人(過失致死含む)	44件(同50件)
強盗	471件(同483件)
強姦	58件(同55件)
誘拐	4件(同2件)
詐欺	3,304件(同2,894件)

(2) 邦人被害事案

リュブリャナ市内ホテル LEV 及び M ホテルにて、それぞれ邦人旅行客が置き引き被害に遭遇(計 2 件：大使館届け出)。

(3) 邦人以外の被害事案

顕著な事案は把握されていない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

特段の事件発生は報告されていない。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人を含めた、身代金目的の誘拐・脅迫事件等の発生は報告されていない。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

3 月のパホル大統領訪日や、6 月に秋篠宮同妃両殿下の当国御訪問が、当地でも好意的に報道されるなど、当国の対日感情は全般的に良好であり、日本企業の安全に関わる諸問題も聞かれない。

以上